

デジタル技術を活用した血圧管理に関する指針（2025年3月発行）

日本高血圧学会が、「デジタル技術を活用した血圧管理に関する指針」を公開しました。

<https://www.jpnhsh.jp/digitalguide.html>

○通常版

<https://jpnhsh.app.box.com/s/bdonzwup2oudh2w2y67xjhdkp8vpzesz>

○要約版

<https://jpnhsh.app.box.com/s/8tnlu8iihcy5vcewa97pxd8llu1ydq7d>

高血圧治療・予防や日常の生活習慣管理において、ウェアラブルデバイス、スマートフォンアプリ、AI（人工知能）などのデジタル技術の活用は益々期待されているところですが、すべてのデジタル技術で有用性が実証されているわけではありません。

そこで、日本高血圧学会では、令和4年度AMED事業「予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業（ヘルスケア社会実装基盤整備事業）」として、6つのデジタル技術（家庭血圧モニタリング、ウェアラブルデバイス、尿中ナトカリ比、スマートフォンアプリ、遠隔医療・保健指導およびAI）の血圧低下作用について現時点でのエビデンスをまとめました。

本指針が、国民の皆様の健康づくりおよび血圧管理に役立つとともに、日本発のヘルスケア領域におけるデジタル技術の発展につながることを期待いたします。

2025年4月吉日

「デジタル技術を活用した血圧管理に関する指針」作成委員会

委員長 有馬 久富